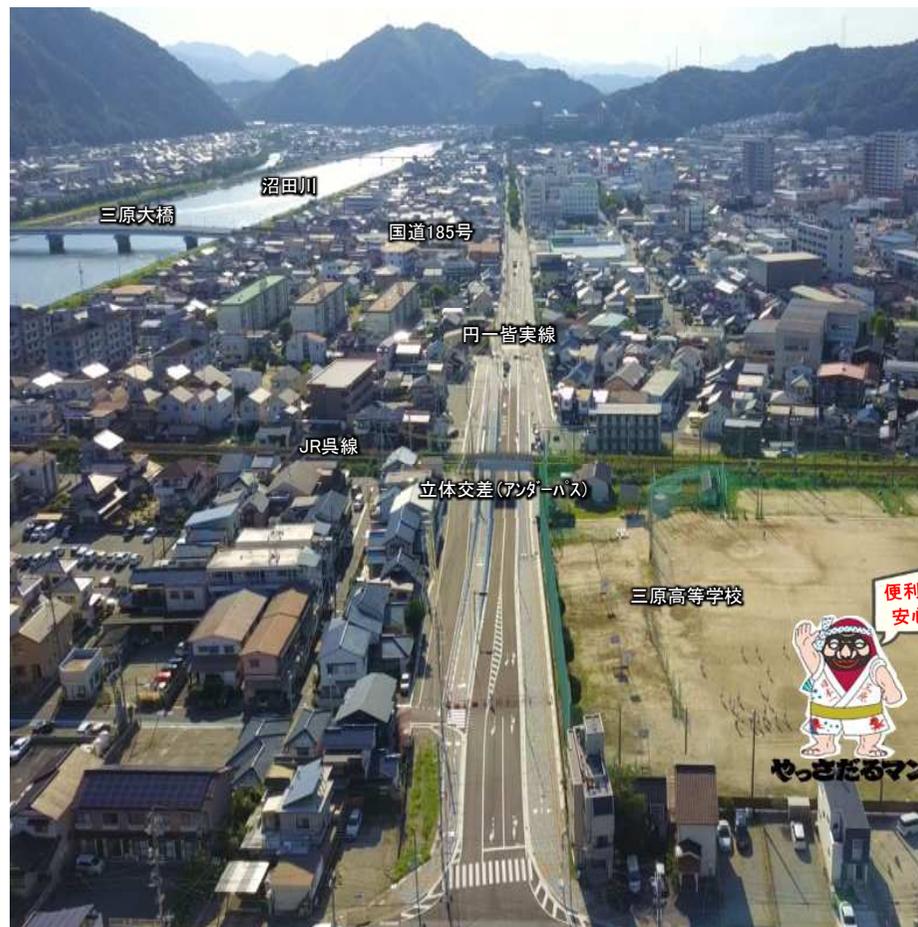


都市計画道路 円一皆実線

祝 令和3年9月23日開通



円一皆実線は、周辺の文教地区や商工業施設・官庁街などの立地により交通需要の高い路線で、都市計画道路という市の重要路線へ位置付けられています。整備前は、道幅が狭く歩道も未整備であることやJR呉線の踏切が横断していることなどから、交通混雑や歩行の危険性が問題となっていました。これらを改善するため、平成8年度に道路改良事業へ着手し、拡幅(16m)と自歩道整備、道路の高さを周辺の宅地に合わせるなどの整備に加え、JR踏切の立体交差化(アンダーパス化)を行いました。

事業期間	平成8年度～令和3年度
区 間	起 点：円一町四丁目(並木通り交差点) 終 点：皆実五丁目(三原大橋北詰交差点)
延 長	900メートル
幅 員	平面部：16メートル， 鉄道立体交差部：14メートル
道路規格	第4種第2級
設計速度	40 キロメートル／時
車 線 数	2車線

安心・安全、快適なまちづくりを目指して

三原市都市部都市開発課

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号

TEL 0848(67)6114



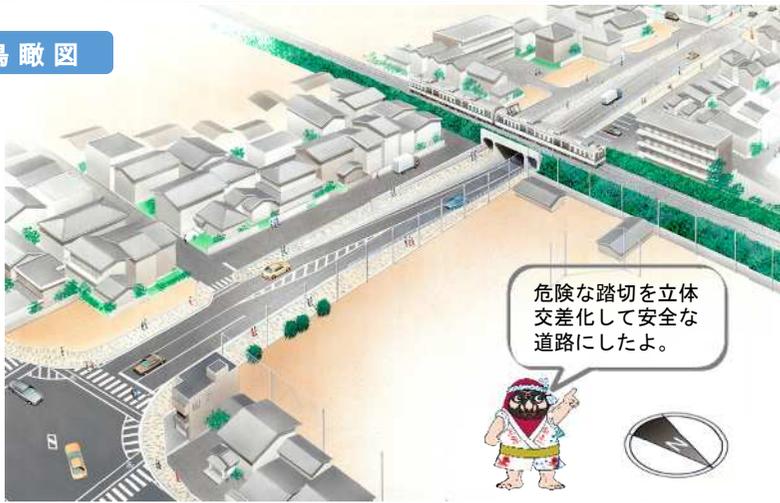
行きたい 住みたい つながりたい
世界にはばたく瀬戸内元気都市

三原市



整備概要・効果

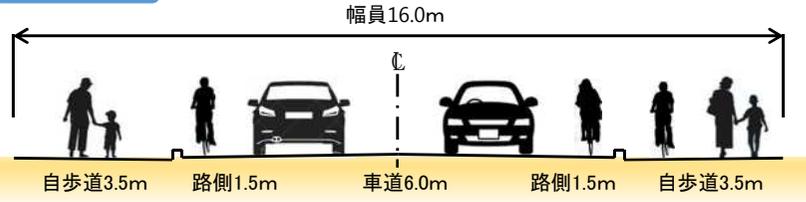
鳥瞰図



危険な踏切を立体交差化して安全な道路にしたよ。



標準幅員図



Before

- ★狭い道や踏切による交通混雑
- ★歩道未整備による歩行の危険性



After

- ★踏切立体交差化による交通の円滑化
- ★広い歩道による歩行の安全性向上



Before

- ★道路と周辺宅地の高低差



After

- ★道路の高さを周辺宅地に合わせる



JR呉線羽仁踏切の立体交差化工事

JR呉線の羽仁踏切を廃止し、線路の下側に道路を造る工事(立体交差工事)を紹介します。工事は、三原市とJR西日本が協力し、平成28年2月から令和2年3月の間で行いました。列車を通しながら行う難しい工事ですが、無事完成させることができました。

STEP.1

線路の撤去・仮橋の設置

地下にトンネルを造るため、線路に仮橋を設置します。線路の撤去と仮橋の設置を一晩で行うため、細かな計画と大勢の人員が必要です。(当日は50人でした)



仮橋設置作業



仮橋設置完了 橋の長さ33m

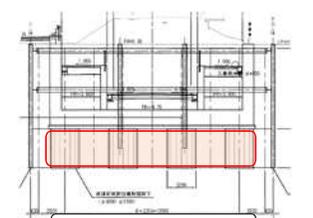
STEP.2

地盤改良工事

道路の地盤をセメントで固め強化します。



地盤にセメントを注入する作業



厚さ3mでセメントを注入

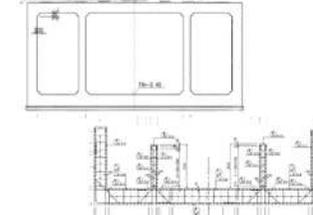
STEP.3

道路トンネルの設置

道路となるトンネルを造ります。鉄筋と型枠を組みコンクリートを流し込みます。



ポンプ車でコンクリートを流し込む作業



STEP.4

仮橋の撤去・線路の設置

仮橋を撤去しトンネルの上に線路を敷く作業を一晩で同時に行います。



線路を敷く作業



一晩で線路ができました



完成

線路の下にトンネルが完成しました。



使用した鉄筋は134t、コンクリートは3,700t



R2.1